

名古屋大学医学部附属病院で膵・胆管合流異常（胆道拡張症）の治療を受けられる患者様

・ご家族の皆様へ

### 膵・胆管合流異常全国登録へのご協力をお願い

#### 患者様およびご家族の方へ

膵・胆管合流異常は、解剖学的に膵管と胆管が十二指腸壁外で合流する先天性の形成異常（奇形）です。膵・胆管合流異常では、膵管と胆管が合流した共通管が長く、括約筋作用が膵胆管合流部に及ばないために、膵液と胆汁が相互に逆流します。膵液の胆道内への逆流（膵液胆道逆流現象）は高率に胆道癌を発生させると報告されています。しかし、本疾患は稀な疾患であるため不明な点が多く、未だに各施設で治療方針が統一されていないのが現状であります。したがって、早急に、この疾患の正確な病態把握と適切な治療法を確立する必要があります。この疫学研究は膵・胆管合流異常症例を全国登録し、集積・追跡調査することにより、本疾患の病態及び至適治療法の解明を目的とします。また本事業は国が定める疫学研究に関する倫理指針ならびに臨床研究に関する倫理指針に則って行われており、とくに患者さんの個人情報の取り扱いには細心の注意が払われております。

登録内容は毎年1回の全国の登録データを統計処理し、日本膵・胆管合流異常研究会プロシーディングスにてその詳細を発表しています。膵・胆管合流異常症の患者さんならびにそのご家族には本事業に対するご理解とご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

本事業についてのお問い合わせは、膵・胆管合流異常研究会お問い合わせページ・メールフォームよりお願いします。

#### 連絡先

名古屋大学医学部附属病院小児外科 教授 内田 広夫 電話：075-741-2111（代）

名古屋大学 医学部 附属病院 総務課 電話：052-744-1901